

富山県内のがんばる介護職員を紹介します！

★ ★ ★ かんいまりすと 2022

社会福祉法人
高岡市身体障害者福祉会
特別養護老人ホーム
志貴野長生寮

高岡市

こばやしあかね

介護福祉士 **小林茜**さん



Q 「介護」や「福祉」の仕事に興味を持ったきっかけは何ですか。

A 体の不自由な方の力になりたいという気持ちが原点です

私の祖父は、生前、脳梗塞による片麻痺を患っており、体が思うように動かせない中でも、自分のできることに一生懸命に取り組む姿を側で目にしていました。その姿が身近にあったことで、いつしか「祖父のように体が不自由な方の力になりたい」と考えるようになりました。

高校3年になっても進路を決めかねていた私に、柔道整復師である父が「手に職をつけたらいいよ。国家資格があれば、将来の支えになる」と言ってくれました。このことが介護の道を目指したきっかけです。人と関わる仕事に惹かれて、介護福祉士の資格が取れる専門学校へ進学しました。



介護福祉士は、
将来の支えになる
国家資格です

Q 仕事で「大変だな」と感じる瞬間を、どのように乗り越えていますか。

A 身近な人たちに相談することで、
気持ちが軽くなります

仕事をしていると悩むこともあります。上司や同僚に聞いてもらうこと、友人や家族に相談できることがとても心強いです。誰かに話すことで、気持ちが軽くなり、また前を向いてがんばろうと思えます。

家で料理する時間が息抜きです。休日は自宅に常備しているスパイスを駆使して、大好きなカレーを時間をかけてつくるのが楽しみです。そして美味しくできあがったカレーを味わう瞬間が、一番の幸せです。またカフェや喫茶店で、ゆっくりとコーヒーを飲むひとときも、心を整えてくれます。



Q どんな人が介護の仕事に向いていると思いますか。

A 待つ心のゆとりを持ち、思いやりを
持って接することができる方です

穏やかでマイペースに物事を進められる方だと思います。私は認知症の方と関わる機会が多く、言葉でのコミュニケーションだけでは、うまく気持ちが伝え合えない場面が少なくありません。そんなときに介護する私たちが先走って指示したり、本人ができることを急いで手助けしてしまったりすると、その方の自発性を奪い、心を傷つけることになります。認知症の方は、次の日には忘れてしまうかもしれませんが、その瞬間の感情は私たちと同じです。介護する側は、待つ心のゆとりが、何より大切だと感じています。言葉を発するのが難しい方もおられますが、表情や仕草を丁寧にみつめることで少しずつ心の動きが伝わる瞬間があります。だからこそ心を開いてもらえるように、思いやりの気持ちを持って接しています。

介護は一人では成り立たず、いろんな方々と連携・協力して進める仕事です。年齢や性別に関係なく、人への思いやりと周囲への気配りを持てる方と働きたいです。スタッフ同士がやさしさを持って接していることで、職場に温かな空気が生まれます。その思いやりが入所者さんへのケアへとつながり、やがて「ありがとう」の言葉として返ってきます。そうした思いやりの循環が、介護の現場を支えています。



Q 小中高生やこれから介護の仕事を目指す人に伝えたいメッセージをお願いします。

A 介護は、日常生活に必要なサポートをする大切な仕事です

「介護」という言葉を聞いても仕事内容を具体的に想像できない方も多いと思いますし、なかにはあまりよい印象を持たない方もおられるかもしれません。けれども介護の仕事は、生活をする上でどこかに不自由を抱えた方の手助けをする大切な仕事です。感謝され「ありがとう」と声をかけてもらうたびに、やりがいを感じます。

「介護」と言っても、介護福祉士が関わりを持つのは、お年寄りの方や、身体や心に病氣や障害を抱えた方などさまざまで、どの分野に進むかで仕事の内容も変わります。介護の世界には、想像以上に幅広い選択肢があるのです。進路に迷っている方は、ぜひ介護に興味を持ってもらえると嬉しいです。実際に仕事の様子を見て、介護現場の温かな空気に触れてみてください。

Q 今後の目標をお聞かせください。

A 入所者さんの笑顔が見られる楽しい時間をつくりたいです

大きな目標を掲げるのではなく、目の前の仕事を丁寧に積み重ねていきたいと思っています。忙しいと焦ったり慌てたりして、つい効率ばかりを優先してしまい、入所者さん一人ひとりと関わる時間が少なくなります。そんなときこそ、横に座ってゆっくりと話を聞いたり、相手の立場になった声かけをしたりするよう心がけ、入所者さんの笑顔がたくさん見られる楽しい時間をつくりたいです。

介護はチームで行う仕事です。スタッフがそれぞれの専門性を発揮して、互いを支えながら仕事をしています。スタッフ一人ひとりに受け持ちの入所者さんがいますが、意見を交わし、必要なときには助け合い、すべての入所者さんに最適なケアをするのが私たちの役目です。

思いやりの循環が、
介護の現場を支えています

